

## 令和4年度第1回山陽小野田市公立大学法人評価委員会議事要旨

- 1 日 時 令和4年9月20日(火曜日) 14:00～15:46
- 2 場 所 山陽小野田市立山口東京理科大学 1号館 2階 大会議室
- 3 出席者 委 員 堤委員長、濱口委員、藤本委員  
事務局 大谷大学推進室長、大坪大学推進室主査、尼崎主任  
公立大学法人山陽小野田市立山口東京理科大学  
望月副理事長、栗田事務局学務部長兼総務部長、吉村事務局総務部次長

### —開会—

#### 4 議 事

##### (1) 法人副理事長あいさつ

##### (2) 議題 (1) 公立大学法人山陽小野田市立山口東京理科大学 令和3年度 事業報告書 第6期事業年度について

事業報告書(7月1日付け事務局送付資料1)について法人より説明を受けた後、質疑等が行われた。

主なものとしては、一般入試の志願倍率の実績値が14.5倍と目標値である全国公立大学平均5.1倍以上を大きく上回っている状況であり、今後も同様の水準で推移していくものと考えているが、今後、目標値について高い水準に見直す考えはないか、との質問に対し、入試志願倍率については、隔年現象により1年毎に大きく増減を繰り返すことから、目標値について、直ちに現在の実績値と同水準とすることは難しい状況である、との回答や、実績として、東京理科大学への特別編入1名というのは多いのか、少ないのか、との質問に対し、どちらが優れているということではないが、近年、反対に東京理科大学から山口東京理科大学への編入希望が出始めている状況であり、一概には言えないが、今後も姉妹校協定を活かし、双方の連携強化を目指したい、との回答、科学研究費補助金の採択率は全

国平均と比べてどうか、との質問に対し、全国平均と比べるとまだ低い状況であるため、現在、科学研究費補助金獲得の分野に精通した文部科学省出身者を職員として採用し講習を行う等、採択率を上げる取組を行っている、との回答、女性限定の教員公募について、応募はあったのか、また、公募時の学会等への働きかけ等を行っているか、との質問に対し、応募はなかった、また、女子学生の増加につなげるためにも、今後は学会等への働きかけ等を積極的に行い、特に工学部における女性教員の増加に向け取り組んでいきたい、との回答があった。

(3) 議題(2) 公立大学法人山陽小野田市立山口東京理科大学 第1期中期目標期間 業務実績報告書(平成28年度～令和3年度)について

業務実績報告書(7月1日付け事務局送付資料2)について法人より説明を受けた後、質疑等が行われた。

主なものとしては、今回の中期目標期間6年間の取組を通じてどのような変化があったか、という質問に対し、現状維持ではなく、常に高い目標を掲げ、達成に向けて取り組んでいくというチャレンジングな精神が醸成された、との回答や、FD活動には終わりというものがないと考えるが、現時点で、今後どのような取組を行っていきたいと考えているか、という質問に対し、山口大学の取組を参考にFD活動の自己点検報告書を作成・公表したい、また、点検結果を学位授与方針、ひいては教育プログラム全体の毎年度の見直しに繋げていきたいと考えている、との回答があった。

—法人退席—

(4) 委員意見交換

評価報告書の作成について、次回までに事務局にて案を作成し、それをもとに審議を行うこととなった。

(5) その他

令和4年6月1日付けで行われた書面議決についての報告が委員長より行われた。また、今後の審議事項として、数理情報科学科が設置される

ことに伴う中期目標の変更に係る意見の聴取が予定されることについて事務局より説明があった。

—閉会—